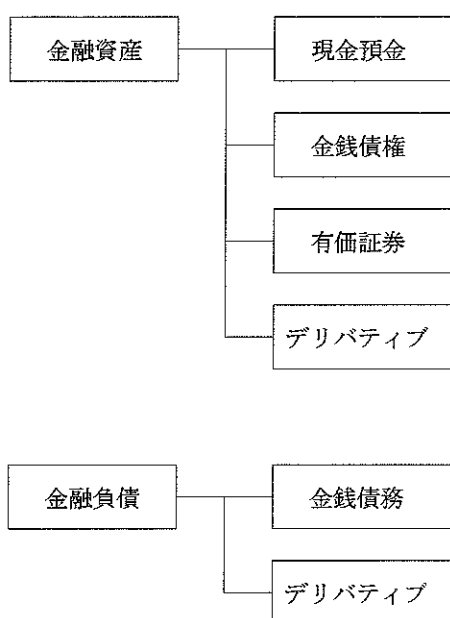


フォローアップセミナー

財務諸表論・重要理論リカバリー講義

金融基準の論点整理

(1) 金融資産・金融負債の範囲

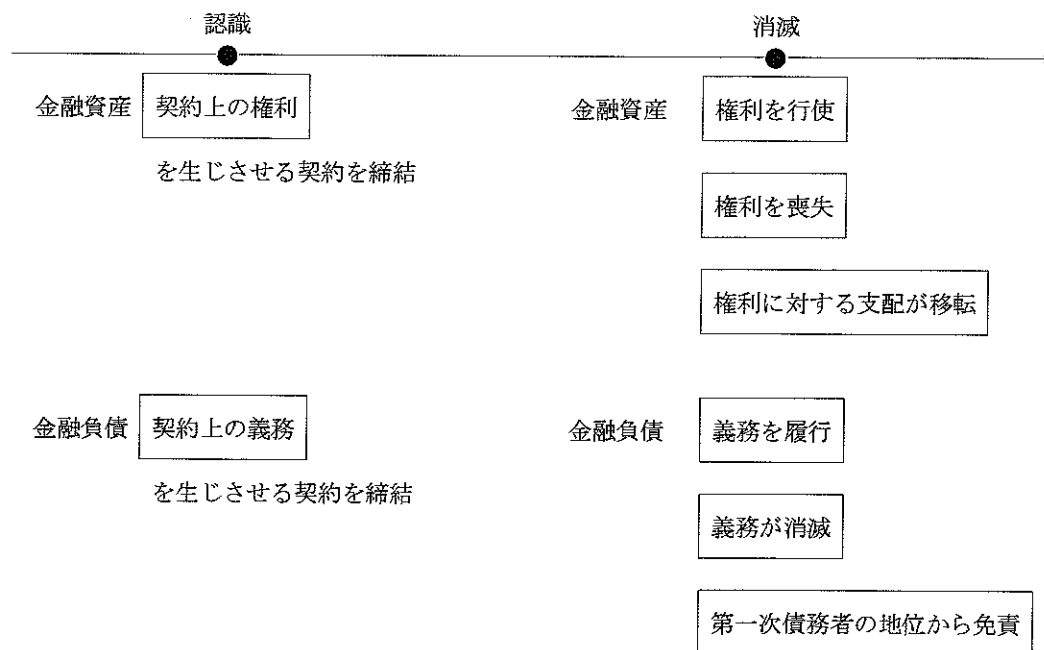


(2) 発生と消滅の認識

(3) 評価と評価差額

- ① 時価評価 ⇨ その理由 + 評価差額 ⇨ その理由
- ② 時価評価しない⇨ その理由

1 金融資産・金融負債の発生、消滅の認識



2 金銭債権

(1) 評価

- ・ 取得価額 — 貸倒引当金
- ・ 償却原価法 に基づいて算定された価額

(2) 時価評価を行わない理由

一般に活発な市場がない 場合が多い

① 受取手形、売掛金 : 短期的に決済 ⇒ 帳簿価額≒時価

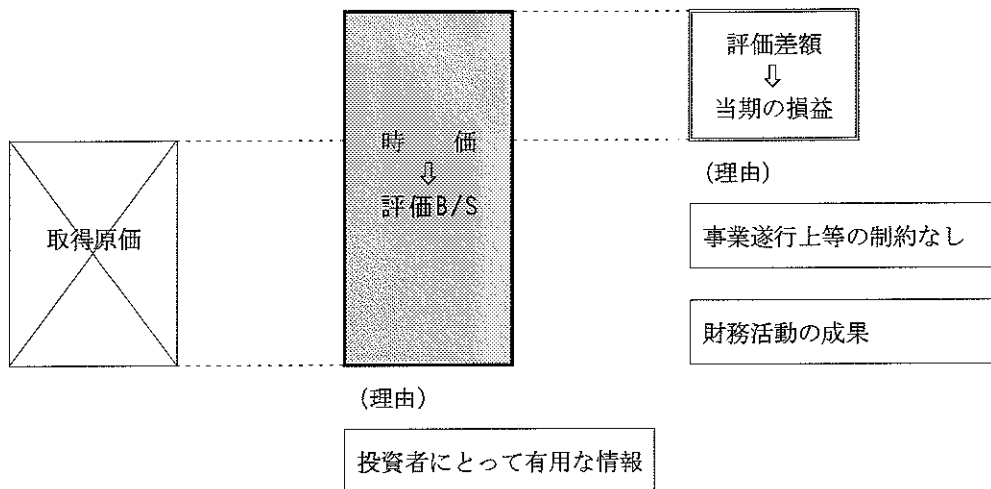
② 貸付金等の債権 : 時価を容易に入手できない

売却することを意図していない

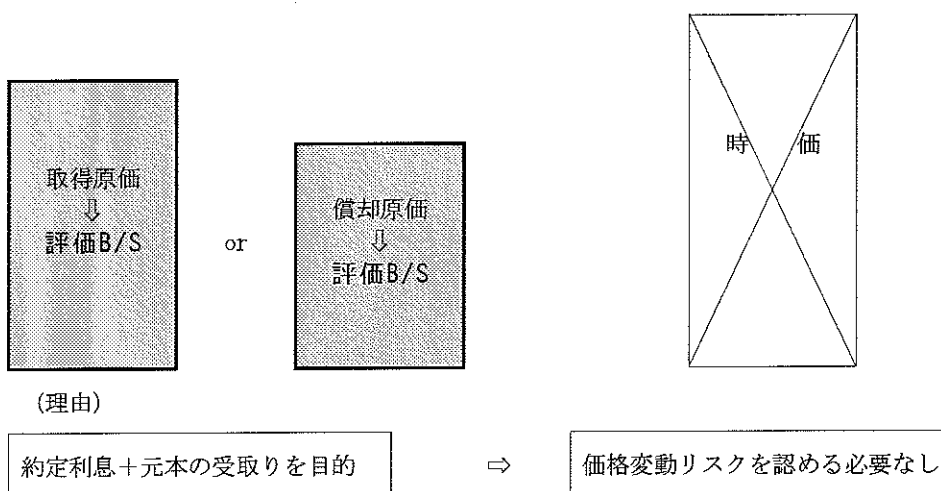
場合が少ない

③ 有価証券

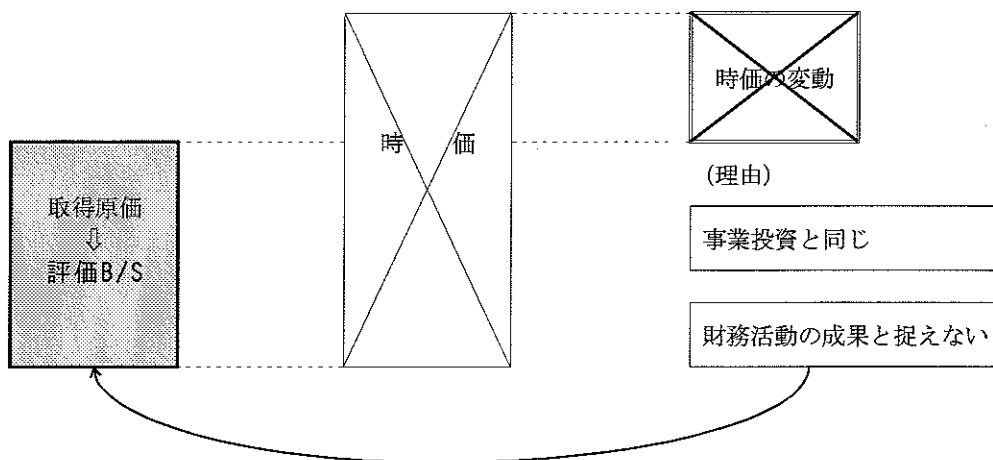
(1) 売買目的有価証券



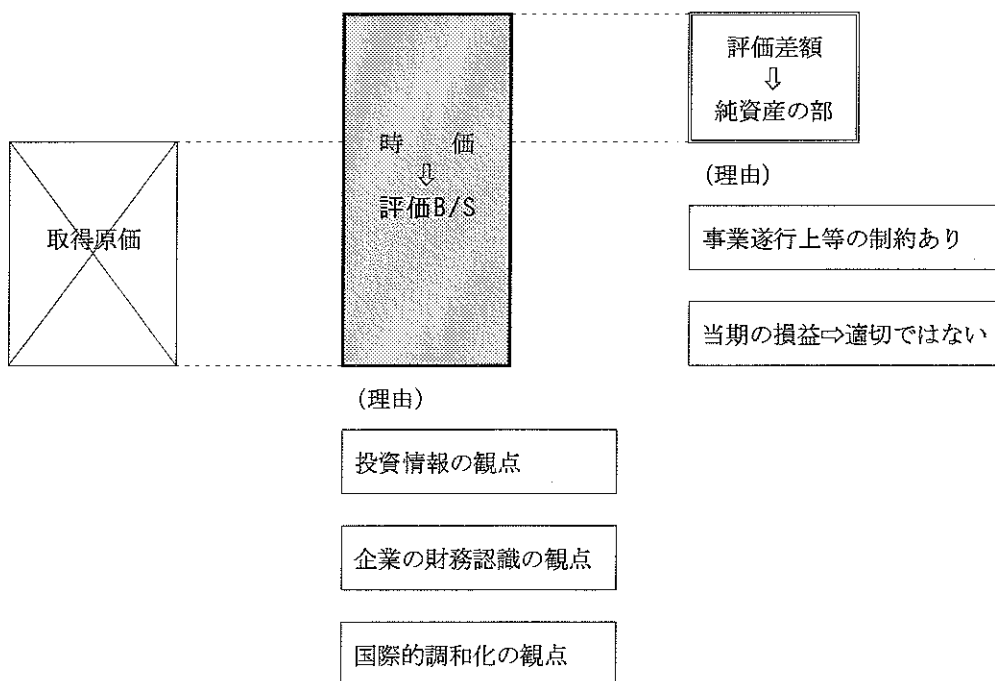
(2) 満期保有目的の債券



(3) 子会社株式および関連会社株式



(4) その他有価証券

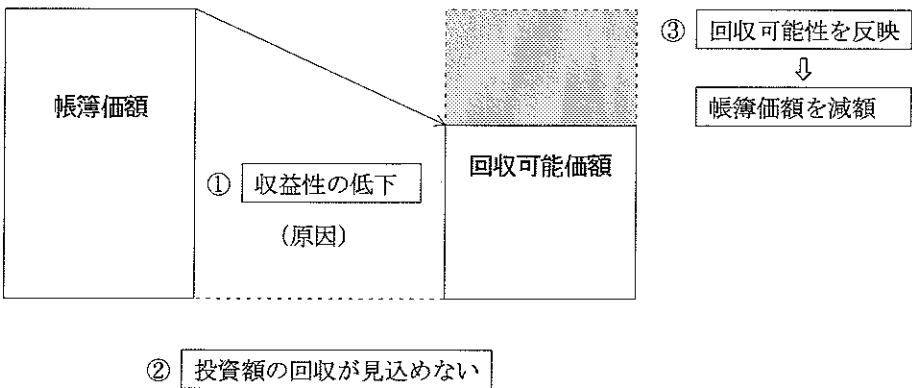


減損会計

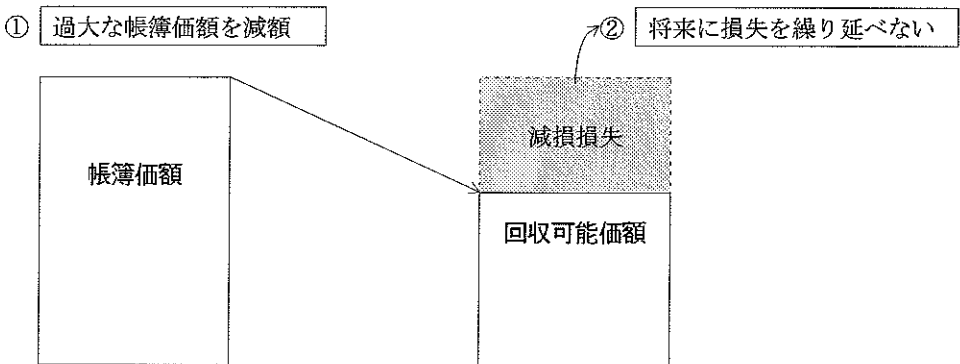
- (1) 意義、目的
- (2) 比較
 - ① 時価評価
 - ② 臨時償却
- (3) 問題点

<メ モ>

1 減損処理の意義

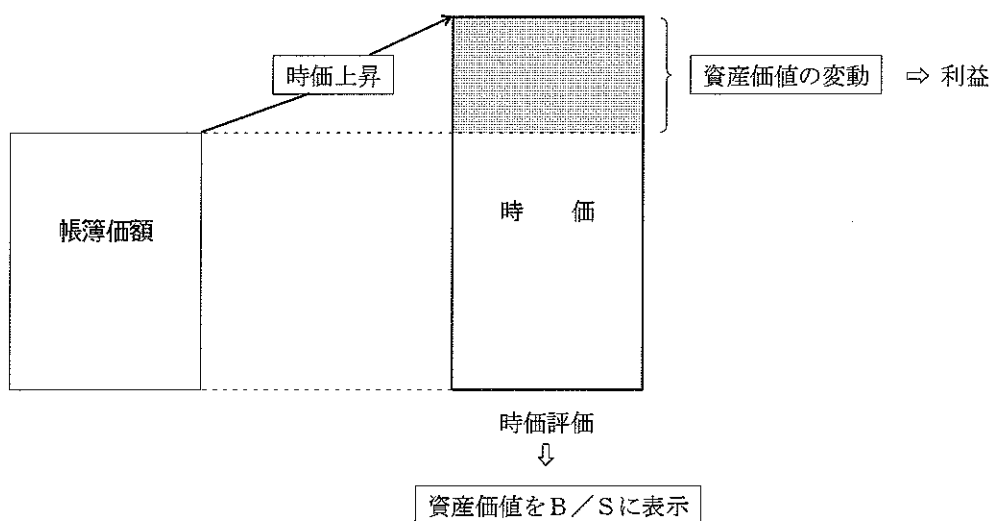


2 減損会計の目的

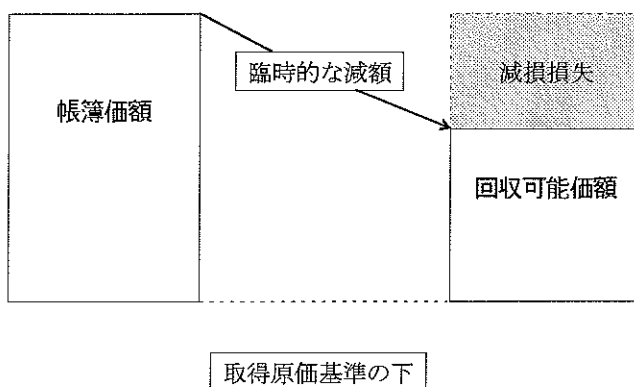


③ 減損処理と時価評価の相違

(1) 時価評価



(2) 減損処理

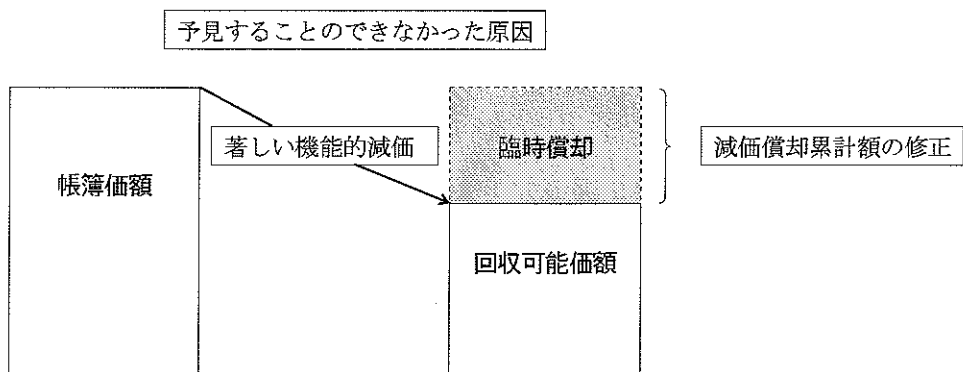


* 取得原価基準の課題 (イメージ)

⇒ 取得原価をどのように費用化していくのか

4 臨時償却との相違

(1) 臨時償却



(2) 減損処理

